

5. 就労状況と就業意識

5-1. 職業

5-1-1. 本人の職業(Q25-1)

【男性】

【若年一人っ子家族】は「労務・技能職(36.0%)」が多いのが特徴。【継続一人っ子家族】は【複数子家族】に比べ、「事務職」が多く、「管理職」が少ないのが特徴になっている。

【女性】

専業主婦率は、【若年一人っ子家族】が54.7%、【継続一人っ子家族】が53.3%とともに半数を超えているが、【複数子家族】では34.0%と3人に1人に留まっている。

5-1-2. 配偶者の職業(Q25-2)

【男性】

女性の本人の職業と同様の傾向がある。専業主婦率は【若年一人っ子家族】で59.3%と高く、【継続一人っ子家族】では47.3%、【複数子家族】では39.3%になっている。

【女性】

【若年一人っ子家族】の配偶者は他グループに比べ「管理職」が少なく、「労務・技能職」「販売・サービス職」が多い。【継続一人っ子家族】、【複数子家族】の配偶者の職業には殆ど違いがない。

図表5-1. 本人及び配偶者の職業(単数回答)(基数:全体)

		労務・技能職	販売・サービス職	事務職	専門職	管理職	農・林・漁業従事	専業主婦	学生	無職	その他	無記入
各グループN=150												
本人	若年一人っ子家族男性	36.0	15.3	14.0	24.7	6.0	0.0	0.0	0.0	0.7	3.3	0.0
	継続一人っ子家族男性	22.7	14.0	19.3	22.7	13.3	3.3	0.0	0.0	0.7	4.0	0.0
	複数子家族男性	28.0	12.7	12.0	18.0	20.7	3.3	0.0	0.0	0.7	4.0	0.7
	若年一人っ子家族女性	4.7	15.3	16.7	8.0	0.0	0.0	54.7	0.0	0.0	0.7	0.0
	継続一人っ子家族女性	6.7	17.3	17.3	4.7	0.0	0.0	53.3	0.0	0.0	0.7	0.0
	複数子家族女性	11.3	15.3	22.0	13.3	0.7	2.7	34.0	0.0	0.0	0.7	0.0
配偶者	若年一人っ子家族男性	3.3	9.3	15.3	11.3	0.0	0.0	59.3	0.0	0.0	0.7	0.7
	継続一人っ子家族男性	4.0	16.0	18.7	12.7	0.7	0.0	47.3	0.0	0.0	0.0	0.7
	複数子家族男性	8.7	16.7	14.7	19.3	0.0	0.7	39.3	0.0	0.0	0.7	0.0
	若年一人っ子家族女性	26.0	26.0	14.7	20.7	8.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.0	1.3
	継続一人っ子家族女性	20.7	17.3	13.3	19.3	22.7	2.7	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
	複数子家族女性	20.7	16.0	12.7	22.0	24.7	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0

5-2. 就労形態

5-2-1. 本人の就労形態(Q26-1)

【男性】

どのグループも常勤(正社員・正職員)が大半を占めており、就業形態にはあまり違いは見られない。

【女性】

どのグループも「アルバイト・パート」の割合が最も多く、特に一人っ子家族グループでは若年、継続とも6割を超えている。【複数子家族】が最も少ないがそれでも5割強を占めている。

なお、常勤(正社員・正職員)の割合は【若年一人っ子家族】が26.5%で、他グループに比べ多い。

5-2-2. 配偶者の就労形態(Q26-2)

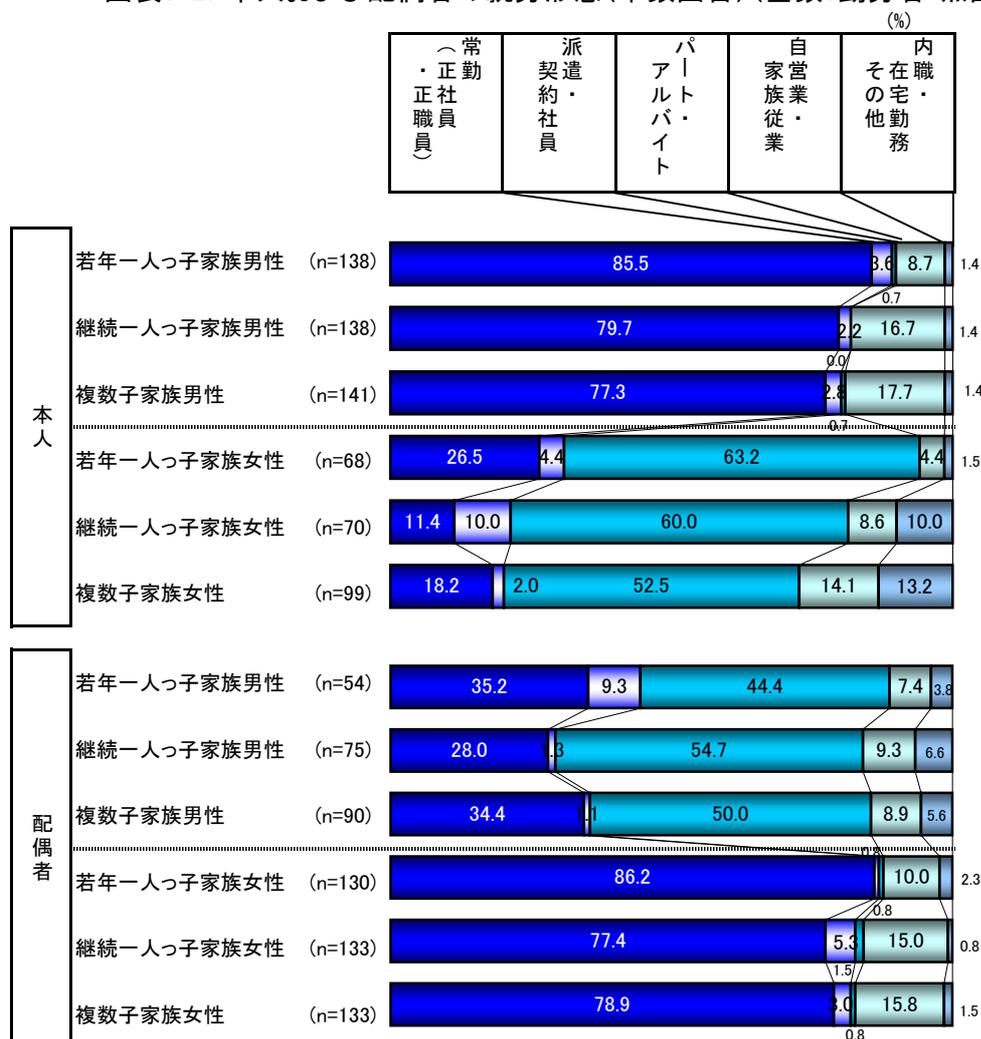
【男性】

どのグループも「アルバイト・パート」の割合が最も多い。常勤(正社員・正職員)比率は【複数子家族】が34.4%で、【継続一人っ子家族】の28.0%を上回っている。

【女性】

どのグループも常勤(正社員・正職員)が大半を占めており、就業形態にはあまり違いは見られない。

図表5-2. 本人および配偶者の就労形態(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-3. 本人および配偶者の就労時間

5-3-1. 本人の就労時間(Q27-1)

【男性】

1日の平均就労時間が「9時間以上」と答えた人の割合は一人っ子家族グループでは若年、継続とも5割を超えるが、【複数子家族】では5割に満たない。

【女性】

平均時間をみると、【継続一人っ子家族】では平均が6時間に満たない。他グループは6時間強である。

5-3-2. 配偶者の就労時間(Q27-2)

【男性】

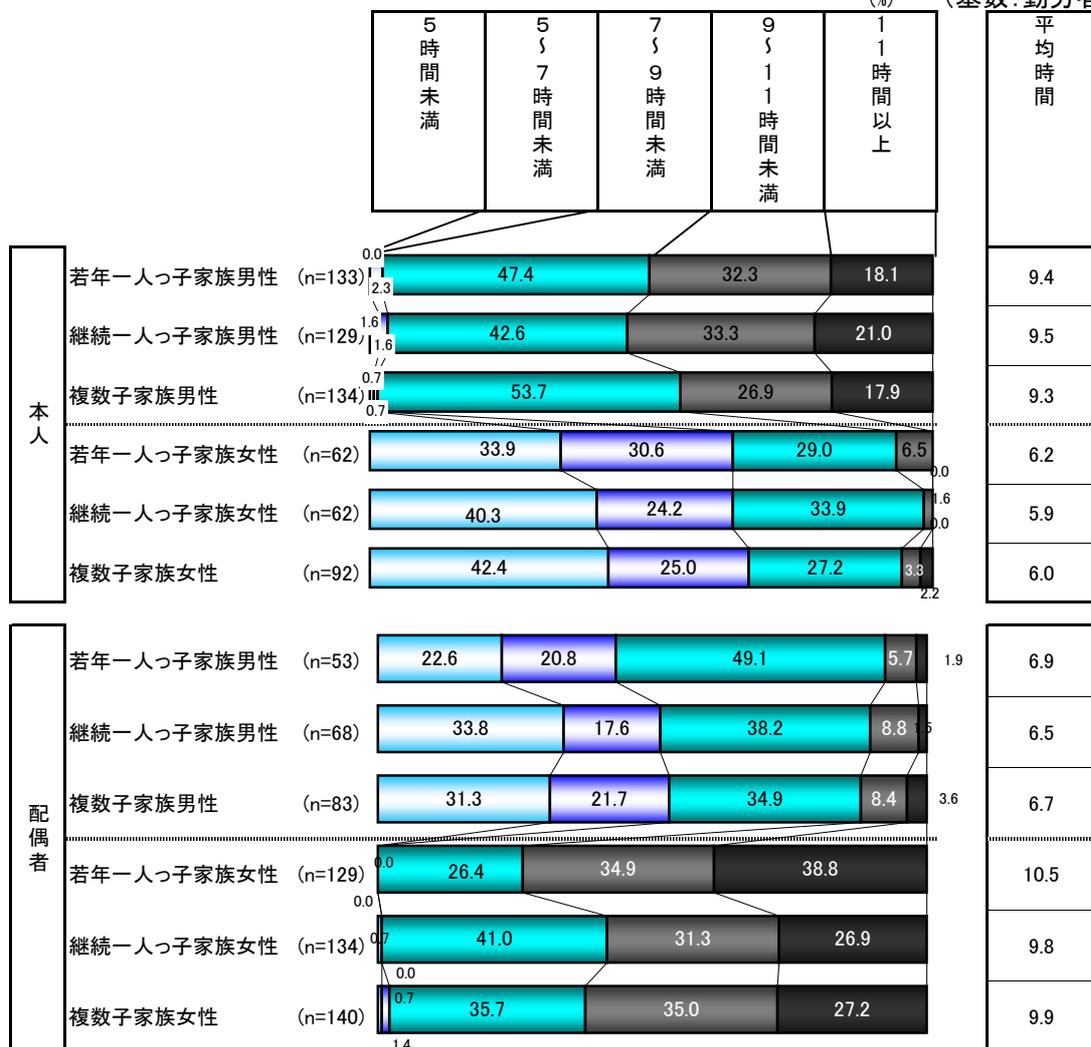
女性本人の就労時間と同じ傾向があり、【継続一人っ子家族】の平均就労時間が若干少ない。

【女性】

【若年一人っ子家族】では、「11時間以上」と答えた人は4割弱も存在する。平均時間も10.5時間と長い。【継続一人っ子家族】は9.8時間、【複数子家族】は9.9時間で差はない。

図表5-3. 本人および配偶者の就労時間(単数回答)

(%) (基数: 勤労者・無回答を除く)



5-4. 育児休業・介護休業の取得状況(Q27-①)

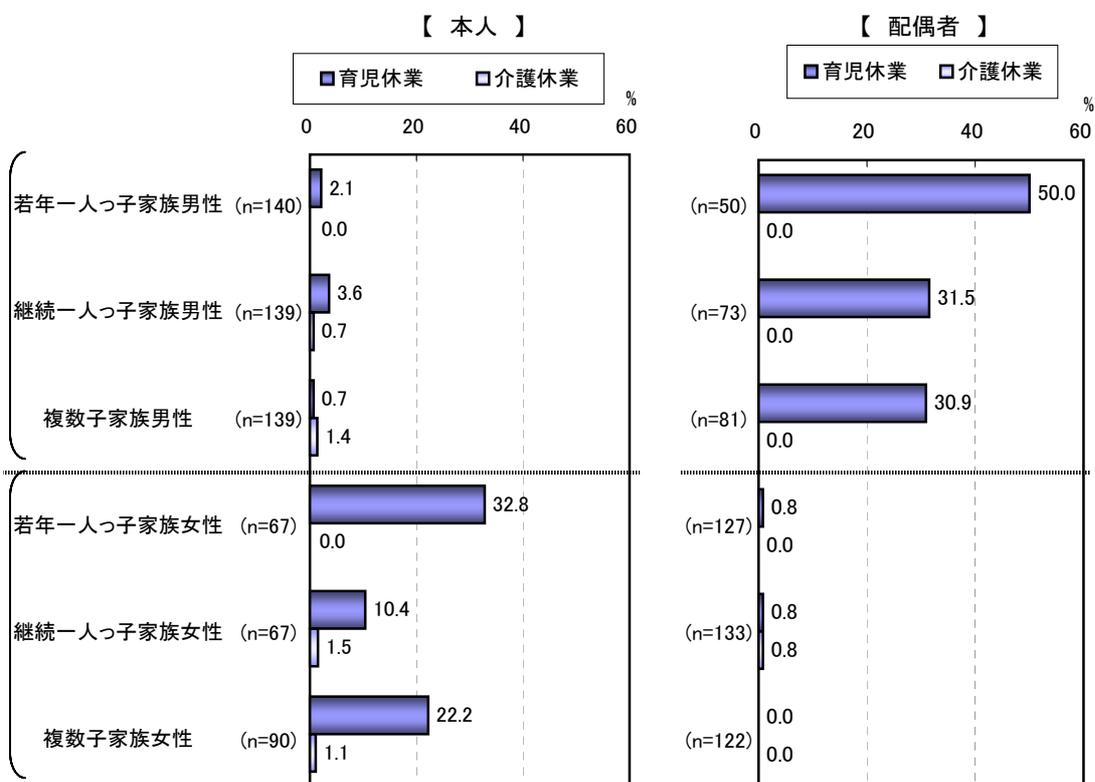
【男性】

「育児休業」「介護休業」の取得経験者はどのグループもごく僅かだが、配偶者には「育児休業」の経験者が見られる。【若年一人っ子家族】では50.0%で、【継続一人っ子家族】(31.5%)、【複数子家族】(30.9%)よりはるかに多い。

【女性】

「育児休業」の取得経験者は、男性の配偶者同様、【若年一人っ子家族】に最も多く見られる。

図表5-4. 育児休暇の取得状況(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-5. 年次有給休暇の取得状況(Q27-②)

5-5-1. 本人の取得状況

【男性】

「全て/ほとんど消化」している人の割合は、どのグループも1割強と少なく、半数以上は「全く/ほとんど消化してない」と答えている。特に、取得状況が芳しくないのは【複数子家族】である。

【女性】

男性よりは消化しているが、それでも「全く/ほとんど消化してない」と答える人が4割から5割存在する。特に【若年一人っ子家族】では5割を超えている。

5-5-2. 配偶者の取得状況

【男性】

有給休暇の取得状況が良くないのは【複数子家族】の配偶者で、57.2%が「全く/ほとんど消化してない」と答えており、【継続一人っ子家族】(47.2%)との間に差がみられる。

【女性】

【若年一人っ子家族】では67.0%が「全く/ほとんど消化してない」と答えている。

図表5-5. 本人および配偶者の年次有給休暇の取得状況(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)
(%)

	消化している			消化していない			全 ほと んど 消化 ど 計・	全 ほと んど 非 消化 ど 計	
	全 部	ほ と ん ど	半 分 く ら い	半 分 以 上	ほ と ん ど	全 く			
本人	若年一人っ子家族男性 (n=134)	3.7	9.7	12.7	14.2	35.8	23.9	13.4	59.7
	継続一人っ子家族男性 (n=126)	7.1	7.1	16.7	14.3	28.6	26.2	14.2	54.8
	複数子家族男性 (n=131)	3.8	8.4	6.9	14.5	34.4	32.1	12.2	66.5
	若年一人っ子家族女性 (n=52)	11.5	17.3	11.5	7.7	17.3	34.6	28.8	51.9
	継続一人っ子家族女性 (n=43)	20.9	11.6	11.6	14.0	14.0	27.9	32.5	41.9
	複数子家族女性 (n=67)	20.9	11.9	13.4	9.0	13.4	31.3	32.8	44.7
配偶者	若年一人っ子家族男性 (n=46)	10.9	19.6	17.4	10.9	15.2	26.1	30.5	41.3
	継続一人っ子家族男性 (n=55)	7.3	10.9	25.5	9.1	23.6	23.6	18.2	47.2
	複数子家族男性 (n=70)	7.1	8.6	14.3	12.9	28.6	28.6	15.7	57.2
	若年一人っ子家族女性 (n=121)	3.3	6.6	12.4	10.7	29.8	37.2	9.9	67.0
	継続一人っ子家族女性 (n=123)	4.9	8.1	15.4	14.6	35.8	21.1	13.0	56.9
	複数子家族女性 (n=130)	3.8	10.8	13.1	12.3	37.7	22.3	14.6	60.0

5-6. 現在の仕事と私生活のバランスの状況(Q28)

現在の生活を仕事と私生活にわけ、どちらが中心かについて質問した。

【男性】

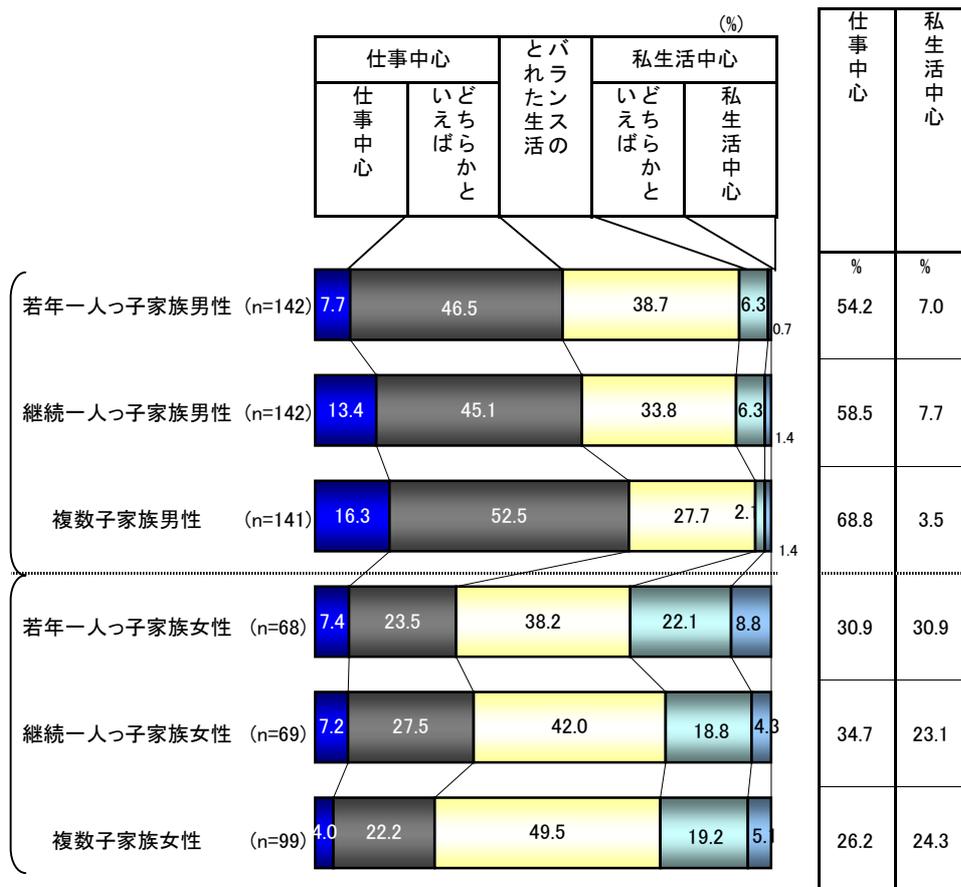
「仕事より私生活が中心」と答えた人はどのグループにおいても1割に満たない。「仕事と私生活のバランスのとれた生活」と答える人もさほど多くなく、「仕事中心」とする人が半数を超えている。

仕事中心派が特に多いのは【複数子家族】(68.8%)で、【継続一人っ子家族】(58.5%)、【若年一人っ子家族】(54.2%)を1割強ほど上回っている。

【女性】

男性とは異なり、バランス派がどのグループにおいても最も多い。仕事派と私生活派とを比較すると、【若年一人っ子家族】および【複数子家族】では両者の割合は拮抗しているが、【継続一人っ子家族】では、仕事派の方が多くなっている。

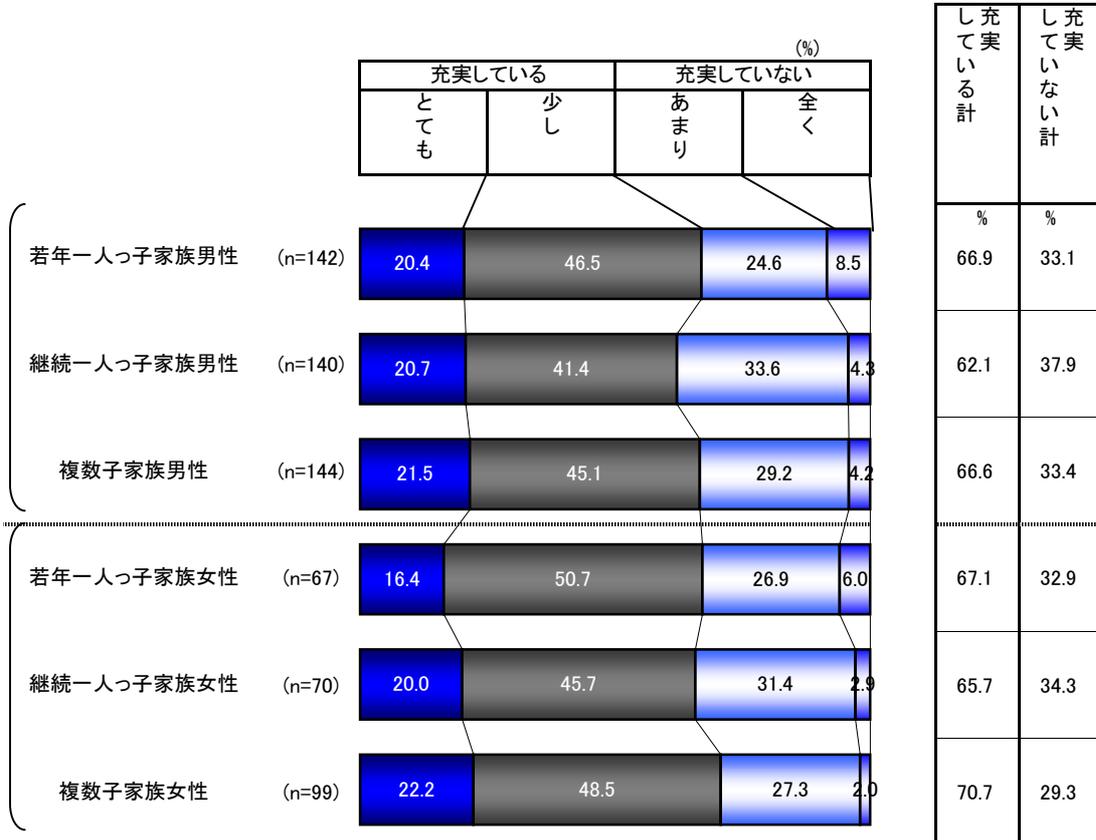
図表5-6. 現在の仕事と私生活のバランスの状況(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-7. 仕事の充実度(Q29)

どのグループにおいても、6割から7割が仕事に充実感を感じており、顕著な差は見られない。

図表5-7 仕事の充実度(単数回答)(基数:勤労者・無回答を除く)



5-8. 仕事継続意向時期(Q30)

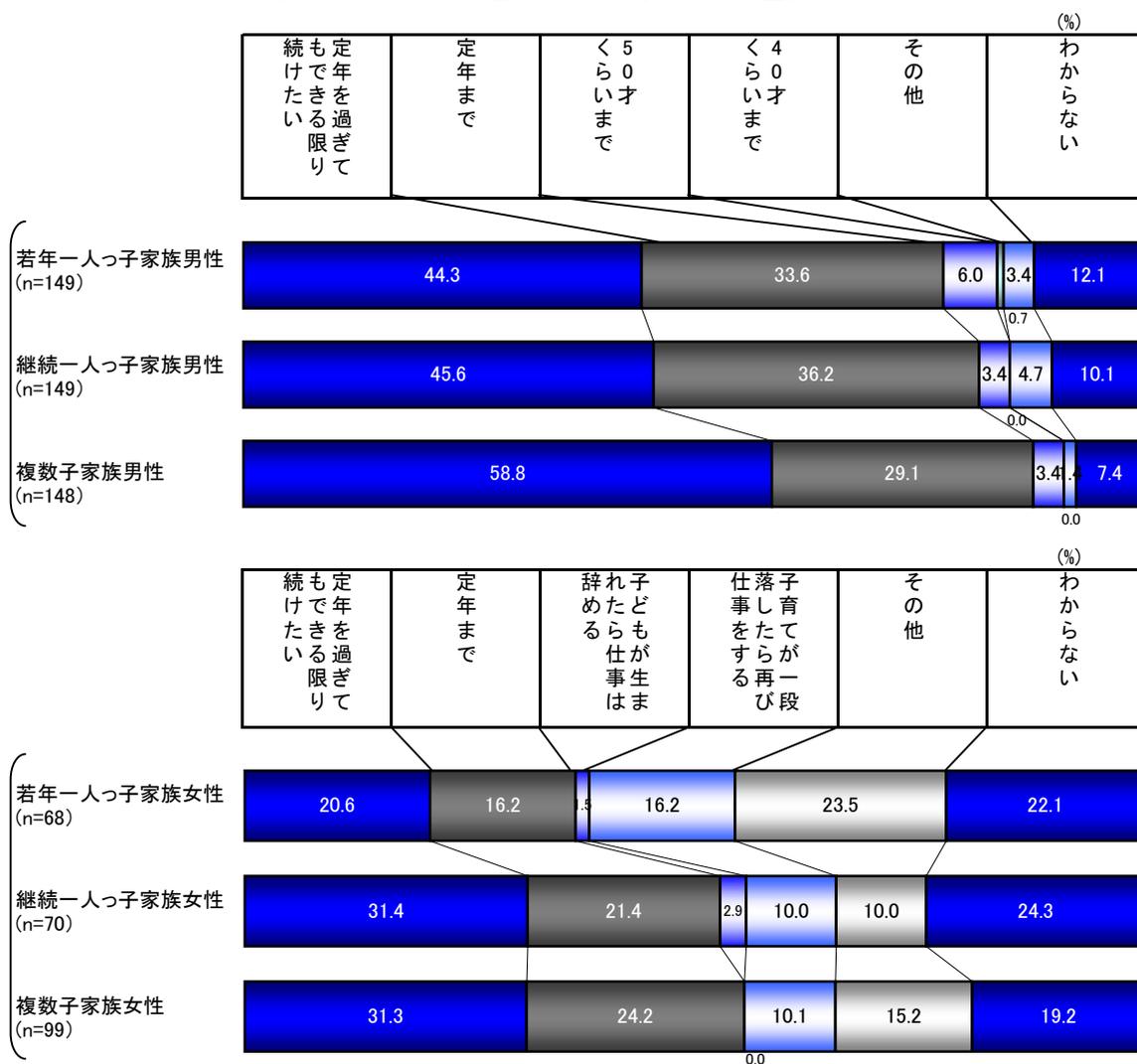
【男性】

どのグループにおいても、「定年まで」や「定年を過ぎてもできるかぎり続けたい」と答える人が大半を占める。特に、【複数子家族】には「定年を過ぎてもできるかぎり続けたい」人が58.8%と多く、【継続一人っ子家族】(45.6%)、【若年一人っ子家族】(44.3%)を10%以上、上回っている。

【女性】

男性ほどではないが、【継続一人っ子家族】と【複数子家族】には「定年まで」「定年を過ぎてもできるかぎり続けたい」意向者が半数強存在する。【若年一人っ子家族】では、今後子どもを持つつもりの人が多いためか、「子どもが生まれたら辞める／生れたら辞めて子育てが一段落したら再び仕事をする」と答えた人が相対的に多くなっている。

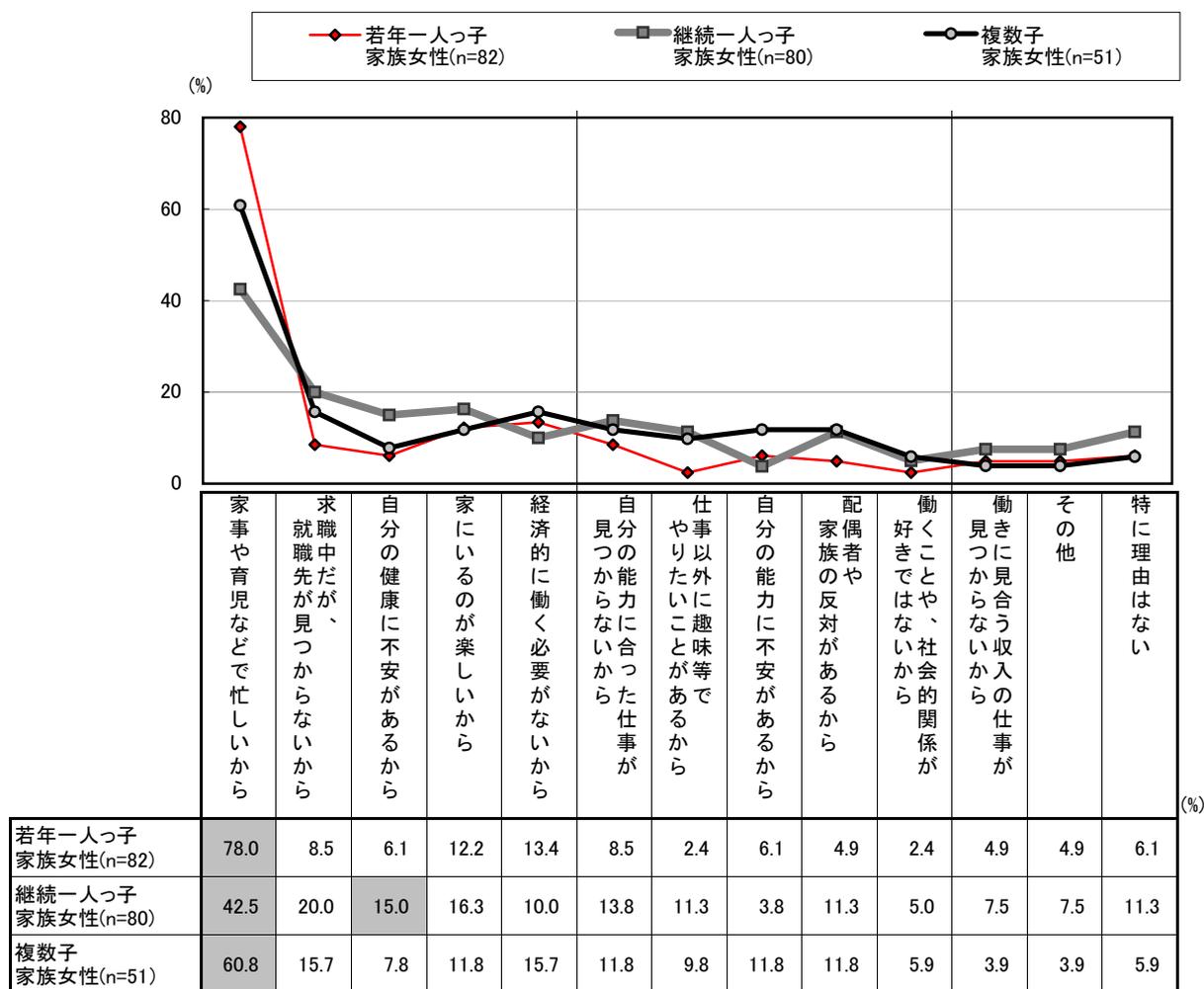
図表5-8. 仕事継続意向時期(単数回答)(基数:勤労者)



5-9. 働いていない理由<女性>(Q31)

専業主婦に働いていない理由を聞いたところ、どのグループにおいても「家事や育児の忙しさ」が最大の理由になっている。特に、未就学児を抱える【若年一人っ子家族】では8割近くがこの理由を挙げている。【複数子家族】でも6割強が理由として挙げているが、【継続一人っ子家族】でこの理由を挙げる人は4割強と少ない。【継続一人っ子家族】が相対的に多く挙げているのは「自分の健康に不安がある」という理由である。

図表5-9. 働いていない理由(複数回答)(基数:学生除く女性の非勤労者)



5-10. 女性のライフコース(Q32)

【女性勤労者】

結婚後も継続して働いている女性は、【若年一人っ子家族】では6割近く存在するが、【継続一人っ子家族】では3割強、【複数子家族】でも4割弱と少ない。

なお、【継続一人っ子家族】では、「結婚退職し、子どもが成長し再び働いている」が、「出産退職し、子どもが成長し再び働いている」を上回っているが、【複数子家族】では逆の結果になっている。結婚時の年齢が影響しているものと思われる。

【女性非勤労者】

【若年一人っ子家族】には、「出産退職後、働いていない」と回答した人も4割強と比較的多く見られるが、他グループは2割台であり、多くは「結婚退職後働いていない」と回答しており、特に【継続一人っ子家族】に多い。

図表5-10. 女性のライフコース(単数回答)

